

やさしい財政講座 第4回

講座③ 財政分析の演習

～決算カードの事例を使って～

三重県市町村財政室

中 尾 治 光
石 倉 邦 彦

「やさしい財政講座」第4回 演習シート

(演習の目的) 代表的な財政指標の動きとその要因を分析できる

(演習の目標) 決算カードの見かたと代表的な財政指標の意義を理解する

1 「決算カード」の構成について(説明)

・津市の平成15年度決算数値を事例に

2 グループ分け

・小グループに分かれましょう
4～5人程度の小グループで演習を行います。

3 演習の進め方

- ① 実際に計算してみましょう
- ② グループ内で考えてみましょう
・平成15年度、平成10年度、平成5年度、平成元年度の4年を時系列で比較します。
- ③ 各グループから、検討した結果を発表しましょう
・発表していただくグループについては、別途指示します。
- ④ 途中で適当に休憩(10分程度)を入れます。

※ 演習に用いる代表的な財政指標は次のとおりとします。

実質収支比率(%)

(定義) $[(\text{歳入} - \text{歳出}) - \text{翌年度へ繰り越すべき財源}] \div \text{標準財政規模}$

経常収支比率(%)

(定義) $\frac{\text{経常経費に充当された一般財源の額}}{\text{経常一般財源} + \text{減税補てん債} + \text{臨時財政対策債}} \times 100$

公債費負担比率(%)

(定義) $\text{公債費充当一般財源額} \div \text{一般財源総額} \times 100$

積立金現在高等

$\text{地方債現在高} + \text{債務負担行為額} - \text{積立金現在高}$
= 将来にわたる実質的な財政負担

財政力指数(単年度)

(定義) $\text{基準財政収入額} \div \text{基準財政需要額}$

・計算の基礎数値はカードの中に記載されています。
計算した答と、カードの中の財政指標は合いましたか？

4 演習のまとめ

- ・演習の中で気づいたことを発表してください。
目標に近づくことができましたか？
- ・講師の気づいたこと、お願いしたいことについて

平成元年度 決算状況				産 業 構 造				人口		92,896		91,467		92,896		91,467		92,896		91,467	
人口増減率				60年国調				65年国調		60年国調		65年国調		92,896		91,467		92,896		91,467	
増減率				増減率				増減率		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率	
増減率				増減率				増減率		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率	
人口	150,690	144,991	3.9	3,059	3,739	5.6	3,059	3,739	5.6	3,059	3,739	5.6	3,059	3,739	5.6	3,059	3,739	5.6	3,059	3,739	5.6
人口増減率	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元
人口増減率	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元
人口増減率	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元	2.3	3.31	元

平成5年度 決算状況			2012 団体名			都道府県名 24		3133		市町村類型		4-5	
歳入の状況			業 務 進 捗			人口集約地区人口		97,040		5年度		平成4年度(千円)	
区分	決算額	構成比	2年度	60年度	60年度	2年度	60年度	92,896	101.86	1,543	5年度	地方交付税増減	1-5
人	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率	増減率					(5.3.31)	
地方譲与税	24,745,110	51.3	23,034,349	88.2	157,177	4.3	150,690						
地方交付税	1,332,806	2.8	1,332,806	5.1	158,635	4.3	157,914						
地方交付金	729,558	1.5	729,558	2.8	157,914	0.5	157,914						
地方交付金	34,178	0.1	34,178	0.1	0.5		0.5						
地方交付金	18,328	0.0	18,328	0.1	0.5		0.5						
地方交付金	434,634	0.9	434,634	1.7	0.5		0.5						
地方交付金	612,055	1.3	257,988	1.0	0.0		0.0						
地方交付金	257,988	0.5	257,988	1.0	0.0		0.0						
地方交付金	354,067	0.7	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	27,916,669	57.8	25,841,811	99.0	0.0		0.0						
地方交付金	34,857	0.1	34,857	0.1	0.0		0.0						
地方交付金	1,213,389	2.5	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	946,866	2.0	74,944	0.3	0.0		0.0						
地方交付金	202,903	0.4	24,569	0.1	0.0		0.0						
地方交付金	5,790,382	12.0	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,823	0.0	1,823	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,706,638	3.5	5,934	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	333,123	0.7	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	687,286	1.4	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,260,175	2.6	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	3,600,389	7.5	120,214	0.5	0.0		0.0						
地方交付金	4,406,200	9.1	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	48,255,015	100.0	26,104,552	100.0	0.0		0.0						
地方交付金	24,745,110	51.3	23,034,349	88.2	157,177	4.3	150,690						
地方交付金	1,332,806	2.8	1,332,806	5.1	158,635	4.3	157,914						
地方交付金	729,558	1.5	729,558	2.8	157,914	0.5	157,914						
地方交付金	34,178	0.1	34,178	0.1	0.5		0.5						
地方交付金	18,328	0.0	18,328	0.1	0.5		0.5						
地方交付金	434,634	0.9	434,634	1.7	0.5		0.5						
地方交付金	612,055	1.3	257,988	1.0	0.0		0.0						
地方交付金	257,988	0.5	257,988	1.0	0.0		0.0						
地方交付金	354,067	0.7	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	27,916,669	57.8	25,841,811	99.0	0.0		0.0						
地方交付金	34,857	0.1	34,857	0.1	0.0		0.0						
地方交付金	1,213,389	2.5	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	946,866	2.0	74,944	0.3	0.0		0.0						
地方交付金	202,903	0.4	24,569	0.1	0.0		0.0						
地方交付金	5,790,382	12.0	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,823	0.0	1,823	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,706,638	3.5	5,934	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	333,123	0.7	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	687,286	1.4	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	1,260,175	2.6	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	3,600,389	7.5	120,214	0.5	0.0		0.0						
地方交付金	4,406,200	9.1	0	0.0	0.0		0.0						
地方交付金	48,255,015	100.0	26,104,552	100.0	0.0		0.0						

(注) 本表の平成5年度歳入(国庫支出金、県支出金、市町村交付金)からは、特定基金(特定基金、特定基金)を除く。

平成10年度
決算状況

区分	歳入の状況 (単位千円・%)	歳出の状況 (単位千円・%)	質別歳出の状況 (単位千円・%)	目的別歳出の状況 (単位千円・%)	区域の状況 (単位千円・%)	団地名 2012	都道府県名 24	市町村別 2012	市町村別	市町村類型	平成9年度(千円)										
地区別	地方譲与税	163,156 人 157,177 人 7年増減率 3.8%	26,429,808 470,279 231,424 1,938,961 26,125 33,005 378,534 2,295,895 1,837,688 458,207 31,804,031	25.2 11.1 19.1 3.1 13.5 1.0 9.8 0.6 9.8 0.7 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 4.2 0.0 3.4 0.0 58.3 0.0 2.1 0.1 2.0 0.3 11.8 0.0	11,065,749 8,265,208 2,249,433 4,792,003 4,791,737 266 18,107,185 4,493,577 3,769,960 2,315,952 928,819 4,073,461 809,524 36,900 5,556,076 760,650 5,556,076 500,067 4,860,278 0	7年増減率 11.3% 10.3% 11.3% 1.3% 3.1% 0.1% 0.7% 4.2% 3.3% 0.8% 0.8%	24,353,718 470,279 231,424 1,938,961 26,125 33,005 378,534 2,295,895 1,837,688 458,207 31,804,031	98.5 4.0 0.9 1.6 0.4 0.8 3.6 0.6 0.0 0.1 0.1 0.1 0.7 0.0 0.0 0.0 4.2 0.0 3.4 0.0 0.8 0.0 58.3 0.0 2.1 0.1 2.0 0.3 11.8 0.0	10,855,231 25,310,279 11,120,960 4,171,690 1,169,195 1,222,000 4,151,934 1,867,030 2,595,580 2,131,635 1,148,200 1,887,745 1,069,200 1,522,800 3,008,500 2,938,500 3,533,500 1,460,000 2,355,000 0	4-5 1-5											
	地方譲与税	157,177 人 159,919 人 7年増減率 1.9%	2,754 3.6 22,957 28.2 55,448 68.1	2.0 0.6 0.0 0.0 0.0 0.0	1,874,922 0.0 1,874,922 0.0 26,429,808 100.0	24,353,718 470,279 231,424 1,938,961 26,125 33,005 378,534 2,295,895 1,837,688 458,207 31,804,031	2年増減率 3.7% 7年増減率 101.86% 1,602	24 79 54,543,898 51,523,004 3,020,894 1,728,206 1,292,688 -358,501 229,604 430,702 302,005	50,193,877 48,177,995 2,015,882 364,893 1,050,989 91,918 42,088 403,740 321,873 215,873	4-5 1-5											
	地方譲与税	160,000 人 160,000 人 7年増減率 0.1%	2,754 3.6 22,957 28.2 55,448 68.1	2.0 0.6 0.0 0.0 0.0 0.0	1,874,922 0.0 1,874,922 0.0 26,429,808 100.0	24,353,718 470,279 231,424 1,938,961 26,125 33,005 378,534 2,295,895 1,837,688 458,207 31,804,031	7年増減率 0.1%	24 79 54,543,898 51,523,004 3,020,894 1,728,206 1,292,688 -358,501 229,604 430,702 302,005	50,193,877 48,177,995 2,015,882 364,893 1,050,989 91,918 42,088 403,740 321,873 215,873	4-5 1-5											
地区別	歳入の状況	歳出の状況	質別歳出の状況	目的別歳出の状況	区域の状況	団地名 2012	都道府県名 24	市町村別 2012	市町村別	市町村類型	平成9年度(千円)										
地区別	歳入の状況	歳出の状況	質別歳出の状況	目的別歳出の状況	区域の状況	団地名 2012	都道府県名 24	市町村別 2012	市町村別	市町村類型	平成9年度(千円)	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
												1,151 296 144 215 1,510	3,944,250 927,000 594,380 735,850 5,274,480	1,151 296 144 215 1,510	3,944,250 927,000 594,380 735,850 5,274,480	1,151 296 144 215 1,510	3,944,250 927,000 594,380 735,850 5,274,480	1,151 296 144 215 1,510	3,944,250 927,000 594,380 735,850 5,274,480	1,151 296 144 215 1,510	3,944,250 927,000 594,380 735,850 5,274,480

平成15年度財政状況
類似団体比較力一下

区分	人口1人当たり		12年国調		産業構造		団体名		市町村類型	4-5
	当該団体	類似団体	増減率	増減率	12年国調	7年国調	24	2012		
地方債と税	154,718	130,989	47.0	76人	163,246人	2,754人	三重県	津市	津市交付税種地	1-5
地方債交付金	3,586	2,707	1.1	2,032人	2,957人	22,957人	津市	津市	津市	
地方債交付金	1,546	1,190	0.5	21,447人	55,448人	101.86				
地方債交付金	10,445	8,604	3.2	54,773人	1,568					
地方債交付金	131	126	0.0							
地方債交付金	2,517	2,058	0.8							
地方債交付金	0	0	0.0							
地方債交付金	6,684	5,303	2.0							
地方債交付金	12,468	26,552	3.8							
地方債交付金	9,175	23,474	2.8							
地方債交付金	3,294	3,078	1.0							
地方債交付金	192,095	177,529	58.4							
地方債交付金	232	214	0.1							
地方債交付金	7,331	2,107	2.2							
地方債交付金	8,698	5,521	2.6							
地方債交付金	1,204	2,305	0.4							
地方債交付金	30,964	31,428	9.4							
地方債交付金	10	266	0.0							
地方債交付金	12,842	13,371	3.9							
地方債交付金	466	2,243	0.1							
地方債交付金	21,298	9,182	6.5							
地方債交付金	10,962	7,463	3.3							
地方債交付金	10,272	13,586	3.1							
地方債交付金	32,400	33,434	9.8							
地方債交付金	328,005	298,985	100.0							

区分	人口1人当たり		12年国調		産業構造		団体名		市町村類型	4-5
	当該団体	類似団体	増減率	増減率	12年国調	7年国調	24	2012		
地方債交付金	154,718	130,989	47.0	76人	163,246人	2,754人	三重県	津市	津市交付税種地	1-5
地方債交付金	3,586	2,707	1.1	2,032人	2,957人	22,957人	津市	津市	津市	
地方債交付金	1,546	1,190	0.5	21,447人	55,448人	101.86				
地方債交付金	10,445	8,604	3.2	54,773人	1,568					
地方債交付金	131	126	0.0							
地方債交付金	2,517	2,058	0.8							
地方債交付金	0	0	0.0							
地方債交付金	6,684	5,303	2.0							
地方債交付金	12,468	26,552	3.8							
地方債交付金	9,175	23,474	2.8							
地方債交付金	3,294	3,078	1.0							
地方債交付金	192,095	177,529	58.4							
地方債交付金	232	214	0.1							
地方債交付金	7,331	2,107	2.2							
地方債交付金	8,698	5,521	2.6							
地方債交付金	1,204	2,305	0.4							
地方債交付金	30,964	31,428	9.4							
地方債交付金	10	266	0.0							
地方債交付金	12,842	13,371	3.9							
地方債交付金	466	2,243	0.1							
地方債交付金	21,298	9,182	6.5							
地方債交付金	10,962	7,463	3.3							
地方債交付金	10,272	13,586	3.1							
地方債交付金	32,400	33,434	9.8							
地方債交付金	328,005	298,985	100.0							

類似団体系別市町村名一覧

中核市

産業構造 人口	Ⅱ次、Ⅲ次95%以上		Ⅱ次、Ⅲ次85%以上		Ⅱ次、Ⅲ次75%以上		計
	Ⅲ次 65%以上	Ⅱ次 55%以上	Ⅲ次 50%以上	Ⅱ次 45%以上	Ⅲ次 40%以上	Ⅱ次 35%以上	
人口	5	4	3	2	1	0	
230,000～430,000 人以上	10(12)	3(5)	1(2)	1(1)	-(-)	-(-)	15(20)
430,000人以上	9(11)	3(3)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	12(15)
計	19(23)	6(8)	1(3)	1(1)	-(-)	-(-)	27(35)

特例市

産業構造 人口	Ⅱ次、Ⅲ次95%以上		Ⅱ次、Ⅲ次85%以上		Ⅱ次、Ⅲ次75%以上		計
	Ⅲ次 65%以上	Ⅱ次 55%以上	Ⅲ次 50%以上	Ⅱ次 45%以上	Ⅲ次 40%以上	Ⅱ次 35%以上	
人口	5	4	3	2	1	0	
130,000～230,000 人以上	5(8)	1(1)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	7(10)
230,000～430,000 人以上	16(18)	5(7)	2(2)	-(-)	-(-)	-(-)	23(27)
430,000人以上	-(-)	2(2)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	2(2)
計	21(26)	8(10)	3(3)	-(-)	-(-)	-(-)	32(39)

都市

産業構造 人口	Ⅱ次、Ⅲ次95%以上		Ⅱ次、Ⅲ次85%以上		Ⅱ次、Ⅲ次75%以上		計
	Ⅲ次 65%以上	Ⅱ次 55%以上	Ⅲ次 50%以上	Ⅱ次 45%以上	Ⅲ次 40%以上	Ⅱ次 35%以上	
人口	5	4	3	2	1	0	
35,000～人未満	3(5)	7(9)	30(40)	18(26)	24(32)	8(11)	90(123)
35,000～55,000 人以上	5(7)	28(37)	48(57)	32(37)	6(10)	3(4)	122(152)
55,000～80,000 人以上	29(33)	26(35)	34(40)	20(24)	-(-)	-(-)	109(133)
80,000～130,000 人以上	28(37)	35(42)	20(25)	9(11)	-(-)	-(-)	92(115)
130,000～230,000 人以上	19(33)	21(24)	7(8)	-(-)	1(1)	-(-)	48(66)
230,000～430,000 人以上	3(5)	-(-)	2(3)	-(-)	-(-)	-(-)	5(8)
430,000人以上	1(4)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	2(5)
計	88(124)	118(148)	141(173)	79(98)	31(44)	11(15)	468(602)

町村

産業構造 人口	Ⅱ次、Ⅲ次85%以上		Ⅱ次、Ⅲ次75%以上		Ⅱ次、Ⅲ次65%以上		計
	Ⅲ次 55%以上	Ⅱ次 45%以上	Ⅲ次 50%以上	Ⅱ次 40%以上	Ⅲ次 45%以上	Ⅱ次 35%以上	
人口	4	3	2	1	0	0	
3,500～人未満	29(57)	40(58)	90(132)	60(89)	43(59)	0	262(395)
3,500～5,500 人以上	23(32)	43(59)	118(148)	82(93)	39(52)	0	305(384)
5,500～8,000 人以上	36(58)	84(108)	132(159)	70(88)	26(32)	0	348(445)
8,000～13,000 人以上	109(141)	130(162)	142(166)	59(73)	11(13)	0	451(555)
13,000～18,000 人以上	65(87)	73(86)	65(74)	22(28)	5(7)	0	230(282)
18,000～23,000 人以上	58(72)	42(52)	19(23)	4(6)	1(2)	0	124(155)
23,000～28,000 人以上	43(49)	25(30)	9(12)	-(-)	-(-)	0	77(91)
28,000～35,000 人以上	45(51)	16(17)	4(5)	1(1)	-(-)	0	66(74)
35,000人以上	35(43)	11(17)	1(2)	-(-)	-(-)	0	47(62)
計	443(590)	464(589)	580(721)	298(378)	125(165)	0	1,910(2,443)

① 中核市、特例市、都市及び町村とも()外は選定団体系、()内は該当団体系数を示す。
 ② 人口及び産業構造は平成12年国勢調査による。なお、産業構造の比率は、分母を就業人口
 総数(分類不能の産業を含む。)とし、分子のⅡ次、Ⅲ次就業人口には分類不能の産業を含めず
 に算出している。

③ 市町村数は平成16年3月31日による。

④ 選定団体系が1団体系しかない類型については、指数表を作成していない。

用語の説明

普通会計

地方公共団体における地方公営事業会計以外の会計をいう。

地方公営事業会計

地方公共団体の経営する公営企業、収益事業、国民健康保険事業、老人保健医療事業、介護保険事業、農業共済事業、交通災害共済事業、公益質屋事業及び公立大学附属病院事業に係る会計の総称をいう。

基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定した額をいう。（交付税法2⑤，14）

市町村分にあつては、次により求められた額である。

- ・標準税率で算定された
法定普通税及び事業所税収入見込額
- ・法定の率により算定された
国有資産等所在地市町村交付金収入見込額
- ・利子割交付金収入見込額
- ・地方消費税交付金収入見込額
- ・ゴルフ場利用税交付金収入見込額
- ・自動車取得税交付金収入見込額
- ・軽油引取税交付金収入見込額
- ・特別地方消費税交付金収入見込額

$$\times \frac{75}{100} +$$

- ・地方譲与税
- +
- ・交通安全対策
特別交付金

* 地方譲与税とは、特別とん譲与税、地方道路譲与税、石油ガス譲与税、自動車重量譲与税及び航空機燃料譲与税をいう。

基準財政需要額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準の行政を行い、または施設を維持するために必要な財政需要を一定の方法によって合理的に算定した額をいう。（交付税法2④，11）

具体的には、各行政項目ごとに〔（測定単位の数値×補正係数）×単位費用〕によって算定した額の合計額である。

標準税収入額等

基準財政収入額の算定対象とされた税収入額であり、次の算式によって求められる。

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{基準財政} \\ \hline \text{収入額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{地方譲与税} \\ \hline + \\ \hline \text{交通安全対策} \\ \hline \text{特別交付金} \\ \hline \end{array} \right) \times \frac{100}{75} + \begin{array}{|c|} \hline \text{地方譲与税} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{交通安全対策} \\ \hline \text{特別交付金} \\ \hline \end{array}$$

標準財政規模

地方公共団体の一般財源の標準規模を示すものであり、次の算式によって求められる。

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{基準財政} \\ \hline \text{収入額} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{地方譲与税} \\ \hline + \\ \hline \text{交通安全対策} \\ \hline \text{特別交付金} \\ \hline \end{array} \right) \times \frac{100}{75} + \begin{array}{|c|} \hline \text{地 方} \\ \hline \text{譲 与 税} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{交通安全} \\ \hline \text{対策特別} \\ \hline \text{交付金} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{普 通} \\ \hline \text{交付税} \\ \hline \end{array}$$

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数であり、通常、 $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$ で求められた

数値の過去3か年間の平均値をいう。

一般財源と一般財源等

一般財源とは、用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源をいう。一般には、地方税、地方譲与税、地方交付税、利子割交付金、地方消費税交付金、交通安全対策特別交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、ゴルフ場利用税交付金、特別地方消費税交付金、自動車取得税交付金、軽油引取税交付金などをいう。

また、上記のいわゆる一般財源のほか、一般財源と同様に使用される財源を合わせて決算統計上「一般財源等」という。

特定財源

一般財源に対する区分で、用途が特定されている財源をいう。これに分類されるものとしては、国庫支出金、都道府県支出金、地方債、分担金、負担金、使用料、手数料、寄附金のうち用途が指定されているもの等である。

経常一般財源収入額

毎年度定例的に収入され、かつその用途についてなんら制約がない収入額をいう。

具体的には、普通税、地方譲与税、地方特例交付金、普通交付税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、特別地方消費税交付金、自動車取得税交付金、軽油引取税交付金、交通安全対策特別交付金及び国有提供施設等所在市町村助成交付金並びに経常的に収入される使用料、手数料、財産収入及び諸収入の用途のうち用途を特定されないものとされる。

経常経費充当一般財源額

毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額をいう。

経常一般財源比率

歳入構造を分析するための比率であり、
$$\frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$
 で求められる。

経常収支比率

財政構造の弾力性を測定する比率であり、
$$\frac{\text{経常経費充当一般財源等}}{\text{経常一般財源等歳入合計+減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$$

で求められる。経常経費に充当した経常一般財源の残りの部分が多いほど臨時の財政需要に対して余裕が持て、財政構造に弾力性があることになる。通常、人件費、扶助費、公債費等が増加すると、経常収支比率は高くなり、財政運営は硬直化する。

形式収支

現金主義の建前にたって、当該年度に収入された現金と支出された現金の差額を表示したもので、単純に〔歳入決算額－歳出決算額〕によって求められた額をいう。

実質収支

形式収支に、本来当該年度に属するべき支出額（翌年度への繰越額）及び収入額（繰越額に係る未収入特定財源）といった発生主義の要素を加減し、実質的な財政収支の結果を明らかにするもので、〔形式収支－翌年度へ繰越すべき財源〕によって求められた額をいう。

（決算統計上では、「翌年度へ繰越すべき財源」に法定の繰越のほか、事業繰越及び支払繰延に係る繰越し財源が加えられる。）

単年度収支

実質収支とは前年度以前からの収支の累積であるので、その影響を控除し、当該年度だけの収支を捉えるもので、〔当該年度の実質収支－前年度の実質収支〕によって求められた額をいう。

実質単年度収支

単年度収支の中には実質的な黒字要素や赤字要素が含まれているため、これらが当該年度に措置されなかったとした場合の単年度収支を検証するものであり、次の算式によって求められた額をいう。

$$\boxed{\text{単年度収支}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{財政調整基金} \\ \text{積立額} \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{地方債} \\ \text{繰上償還金} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{c} \text{財政調整基金} \\ \text{取崩し額} \end{array}}$$

(黒字要素) (黒字要素) (赤字要素)

実質収支比率

実質収支の標準財政規模に対する割合をいう。

おおむね、3～5%程度が望ましいと考えられている。

なお、実質収支が赤字の場合の実質収支比率が一定の限度を超える団体は、翌年度の地方債の発行が制限される。(再建法23 I、再建令11の2 III、再建令附則VI)

公債費負担比率

財政構造の弾力性をみるための指標であり、次の算式で求められる。この比率が高いほど財政運営が硬直化しているといえる。

$$\frac{\text{公債費充当一般財源}}{\text{一般財源総額}} \times 100$$

将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担は、地方債現在高に、債務負担行為の翌年度以降の支出予定額を加えて、積立金現在高を差し引いたもので、自治体の将来にわたる実質的な財政負担を示すもの。

$$\text{将来にわたる実質的な財政負担} = \text{地方債現在高} + \text{債務負担行為額} - \text{積立金現在高}$$

自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源をいい、地方税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入がこれにあたる。

依存財源

自主財源に対する区分で、国や県の意思決定に基づき収入される財源をいい、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、都道府県支出金、地方債及び各種交付金がこれにあたる。

義務的経費

歳出のうち、極めて硬直性の強い経費であり、支出が義務づけられ、任意に削減できない経費をいう。一般的には人件費、扶助費、公債費がこれにあたる。

任意的経費

義務的経費に対する区分で、任意に削減、圧縮できる経費であり、上記以外の経費をいう。

投資的経費

支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費をいい、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費がこれにあたる。

消費的経費

投資的経費に対する区分で、支出の効果が極めて短期間に終わる経費をいい、人件費、物件費、維持補修費、扶助費及び補助費等がこれにあたる。

類似団体に比べてこの構成比が非常に大きい場合は、節減を図るべきとされている。

投資的経費充当可能一般財源等の額

〔一般財源等収入額－（投資的経費以外の臨時的経費に充当された一般財源等＋経常的経費に充当された一般財源等）〕 によって求められた額をいう。

類型別財政指数

次の算式によって求められる。

$$\text{各決算額} \times \frac{1}{\text{平成16年3月31日現在の住民基本台帳人口}}$$

財政分析の演習表

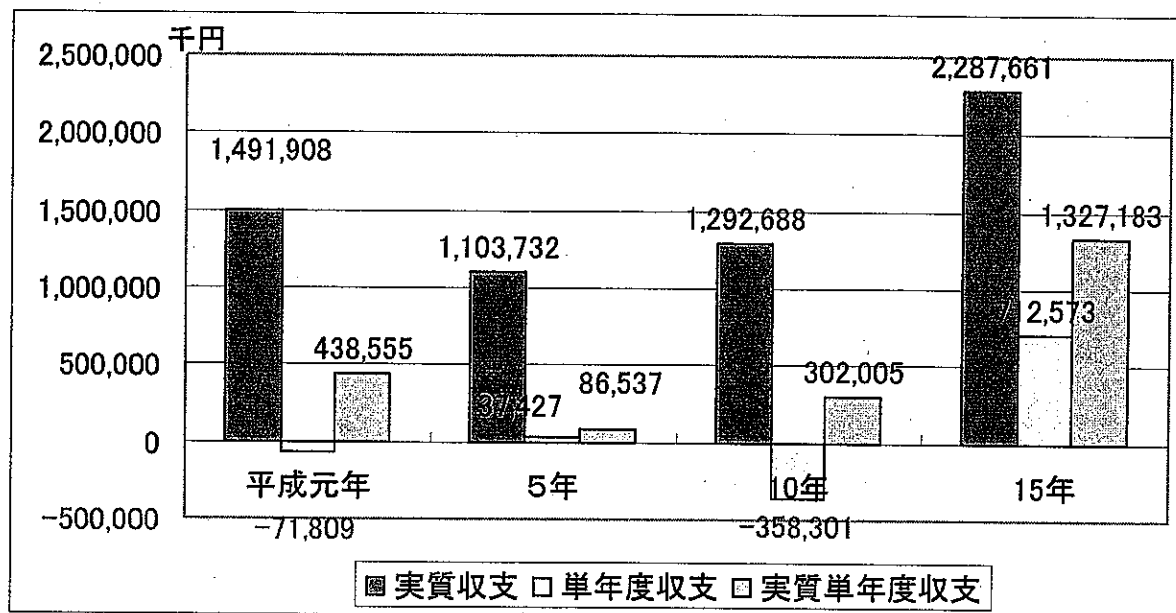
	平成元年	平成5年	平成10年	平成15年	備考
実質収支比率					
実質収支					
単年度収支					
実質単年度収支					
標準財政規模					
実質収支比率					
経常収支比率					
経常一般財源等					
経常経費充当一般財源					
差引					
経常収支比率					
公債費負担比率					
公債費充当一般財源					
一般財源総額					
公債費負担比率					
積立金残高等					
積立金現在高					
地方債現在高					
債務負担行為額					
将来にわたる実質的な財政負担					
財政力指数					
基準財政需要額					
基準財政収入額					
財政力指数					

実質収支比率

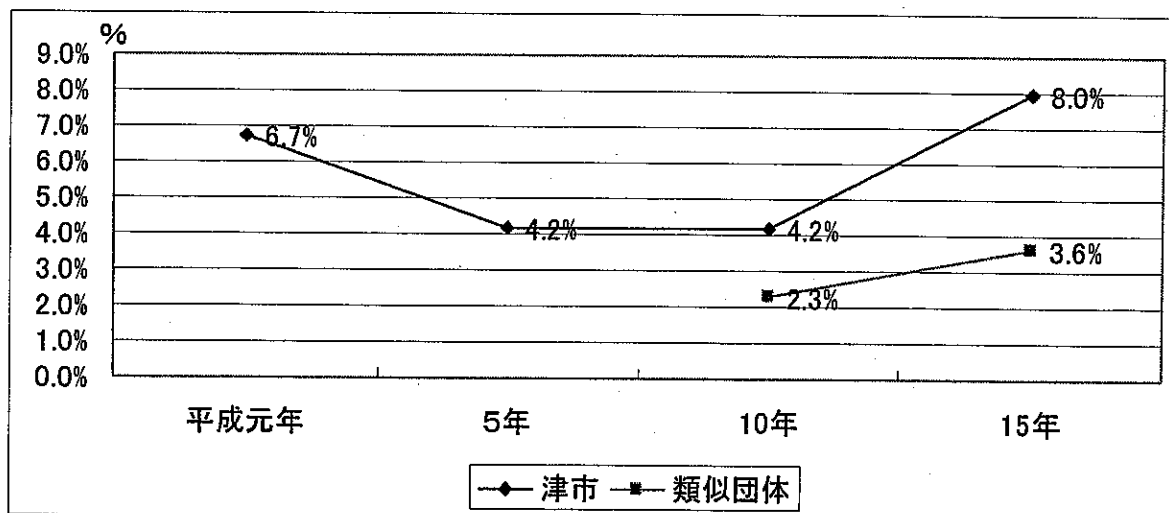
(単位:千円)

	実質収支	単年度収支	実質単年度収支	標準財政規模	実質収支比率
平成元年	1,491,908	-71,809	438,555	22,212,425	6.7%
5年	1,103,732	37,427	86,537	26,355,986	4.2%
10年	1,292,688	-358,301	302,005	31,002,770	4.2%
15年	2,287,661	712,573	1,327,183	28,717,813	8.0%

各種収支の推移



実質収支比率の推移

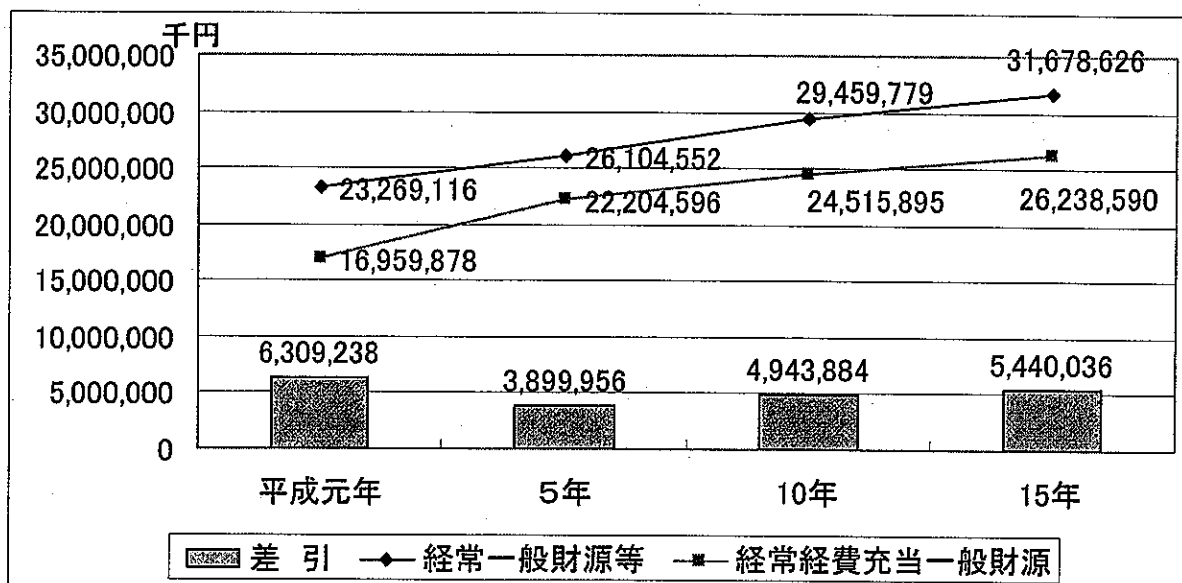


経常収支比率

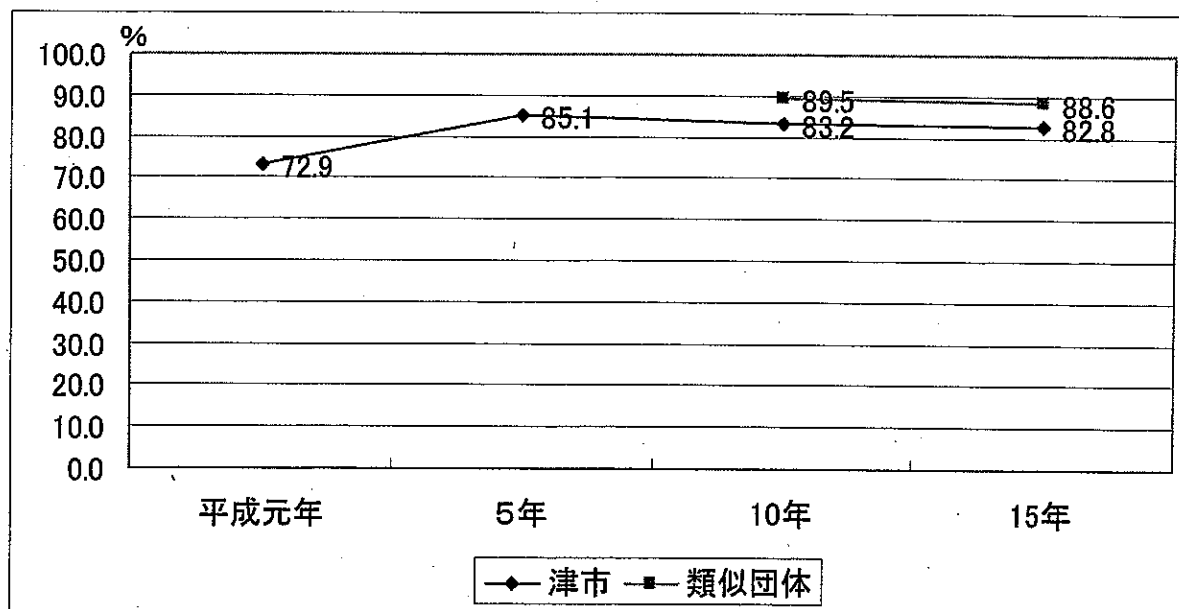
(単位:千円)

	経常一般財源等	経常経費充当一般財源	差引	経常収支比率
平成元年	23,269,116	16,959,878	6,309,238	72.9%
5年	26,104,552	22,204,596	3,899,956	85.1%
10年	29,459,779	24,515,895	4,943,884	83.2%
15年	31,678,626	26,238,590	5,440,036	82.8%

経常経費充当一般財源の推移



経常収支比率の推移

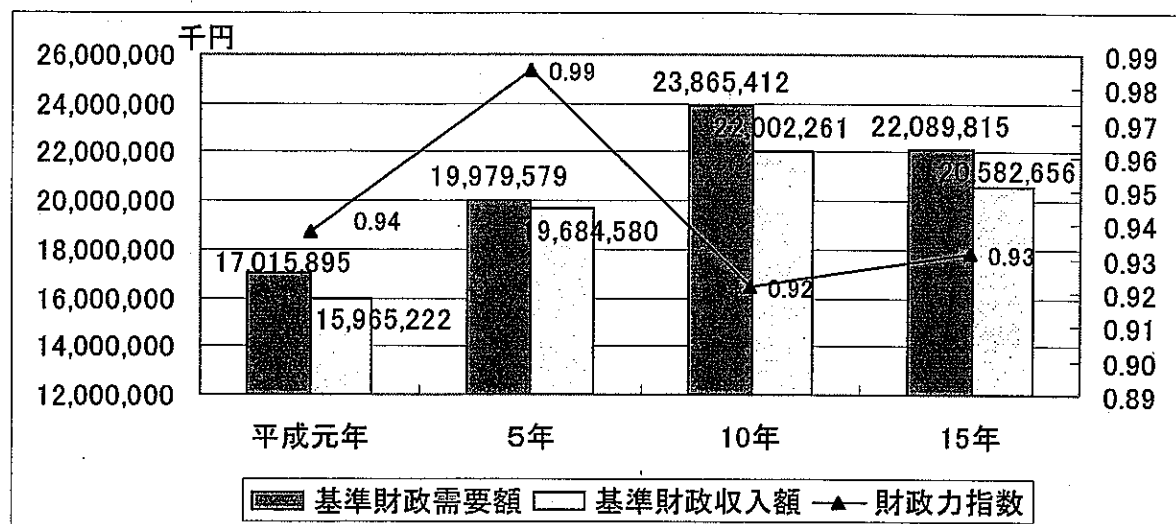


財政力指数

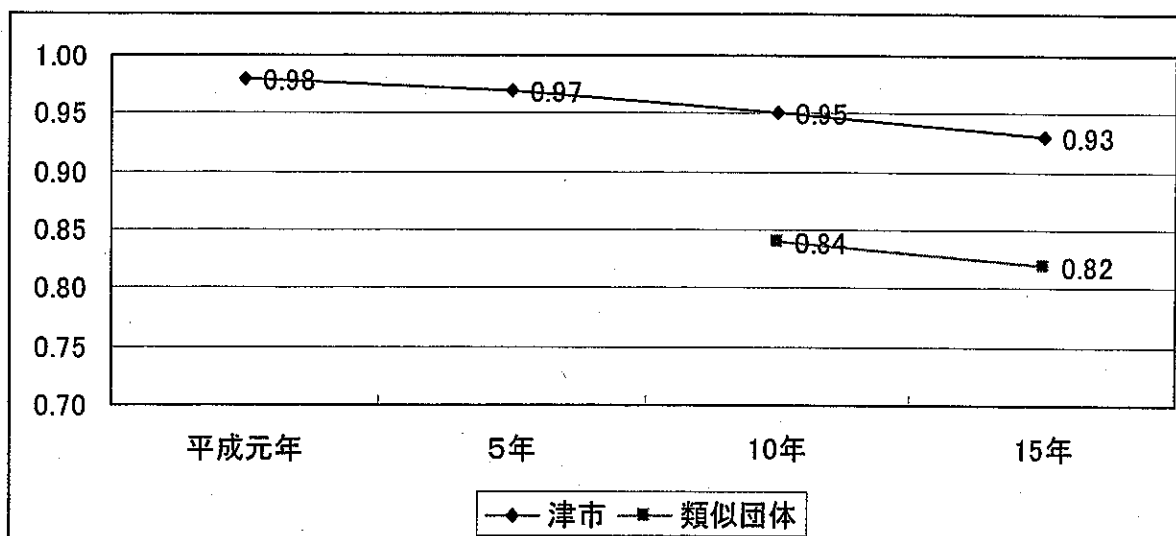
(単位:千円)

	基準財政需要額	基準財政収入額	財政力指数
平成元年	17,015,895	15,965,222	0.94
5年	19,979,579	19,684,580	0.99
10年	23,865,412	22,002,261	0.92
15年	22,089,815	20,582,656	0.93

基準財政需要額、基準財政収入額、財政力指数の推移(単年度)



財政力指数の推移 (3ヶ年平均)

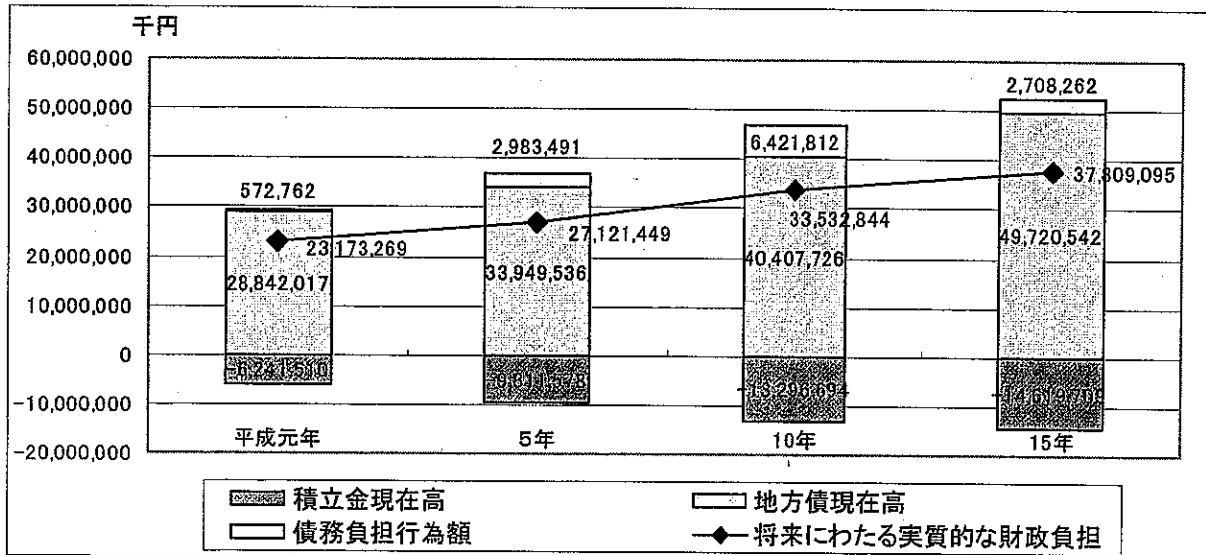


積立金現在高等の推移

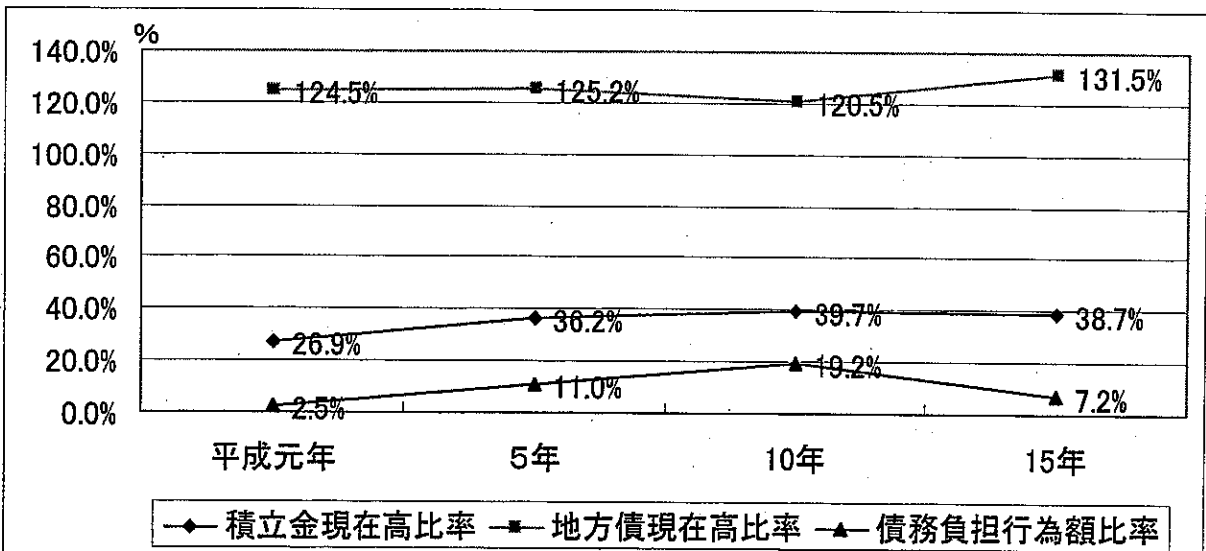
(単位:千円)

	積立金現在高	地方債現在高	債務負担行為額	将来にわたる実質的な財政負担
平成元年	6,241,510	28,842,017	572,762	23,173,269
5年	9,811,578	33,949,536	2,983,491	27,121,449
10年	13,296,694	40,407,726	6,421,812	33,532,844
15年	14,619,709	49,720,542	2,708,262	37,809,095

積立金現在高、地方債現在高、債務負担行為額の推移



積立金現在高比率等の推移 (分母は標準財政規模)

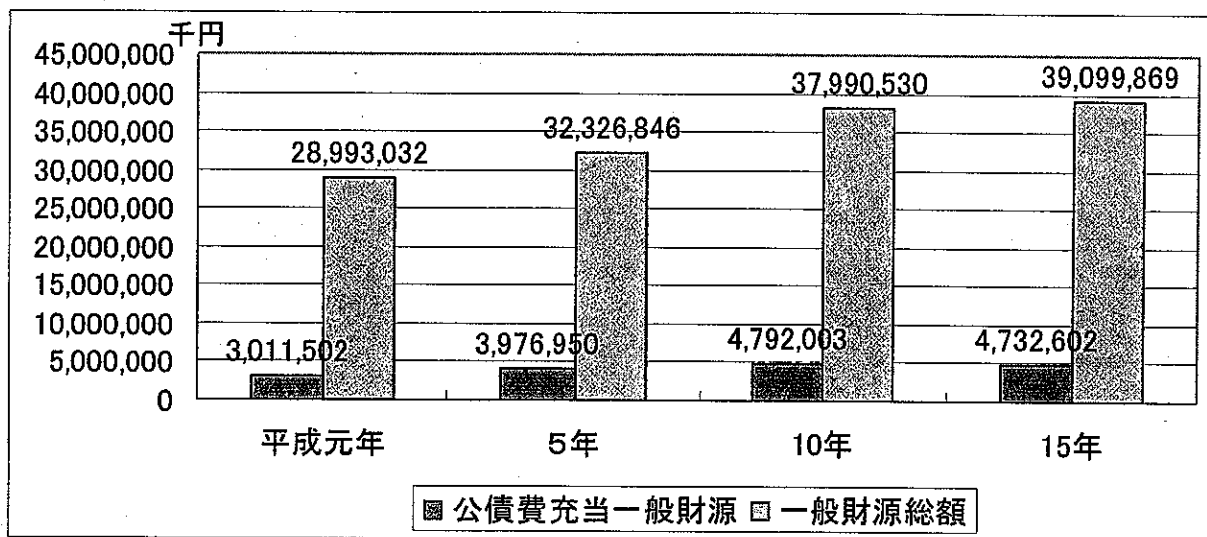


公債費負担比率

(単位:千円)

	公債費充当一般財源	一般財源総額	公債費負担比率
平成元年	3,011,502	28,993,032	10.4%
5年	3,976,950	32,326,846	12.3%
10年	4,792,003	37,990,530	12.6%
15年	4,732,602	39,099,869	12.1%

公債費充当一般財源の推移



公債費負担比率の推移

